

「糖尿病連携手帳」の配布について（医師会員のみなさまへお願い）

糖尿病患者は、年々増加の一途をたどっています。その対策の1つとして、健康日本21 こまき計画 歯の健康部会 において、糖尿病専門医、内科医、眼科医、歯科医等関係機関において連携をとり、患者さまの身体状況の情報共有化を図ることを目的として、この「糖尿病連携手帳」の活用を推進しています。

このたび、健康日本21 こまき計画推進会議において、実際にこの手帳を活用し、市内関係機関において患者さまの身体情報を共有化し、糖尿病の重症化予防を図ることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴医院におかれましても、ご理解を賜りたく、「糖尿病連携手帳」の見本を配布させていただきますので目をお通しいただき、糖尿病患者さまへの手帳配布にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

〈連携方法〉

1) 「糖尿病」と診断された患者さまが来院したら、この手帳をお渡し下さい。

手帳をお渡しする前に、下記項目の記入をお願いします。

（検査結果資料の貼付でも可）

- ① (P9) 糖尿病連携パス医療機関 に**貴医院の情報**を必要事項にご記入下さい
- ② (P10) 基本情報 に患者さまの**身体状況**をご記入下さい
- ③ (P12～) 患者さまの**検査結果**をご記入下さい
 - ・患者さまの身体状況について**特記事項**などがございましたら、「治療内容・療養指導のポイント」欄にご記入下さい
- ④ (P24～) 療養指導（食事・運動・生活習慣など）を行った場合、その内容をご記入下さい
- ⑤ (P28～) 糖尿病教育入院を行った場合、その状況をご記入下さい

2) 他科受診が必要になる場合は、この手帳を持参の上、受診いただくようご案内下さい。

歯科医院への受診もぜひお勧め下さい！

→ 歯周病は、糖尿病の**重大な合併症の1つ**です。

歯周病治療を行い、歯周組織の慢性炎症を改善することで、インスリン抵抗性が軽減し、血糖コントロール状態が改善されるとの報告結果もあり、糖尿病と歯周病は相互関係にあります。

身体状況の改善を図るためにもぜひ、歯科医院で歯科健診をお受けいただくようお願い下さい。

（手帳、リーフレットの配布をお願いします）



「糖尿病連携手帳」の配布について（歯科医師会員のみなさまへお願い）

糖尿病患者は、年々増加の一途をたどっています。その対策の1つとして、健康日本21 こまき計画 歯の健康部会 において、糖尿病専門医、内科医、眼科医、歯科医等関係機関において連携をとり、患者さまの身体状況の情報共有化を図ることを目的として、この「糖尿病連携手帳」の活用を推進しています。

このたび、健康日本21 こまき計画推進会議において、実際にこの手帳を活用し、市内関係機関において患者さまの身体情報を共有化し、糖尿病の重症化予防を図ることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴医院におかれましても、ご理解を賜りたく、「糖尿病連携手帳」の見本を配布させていただきますので目をお通しいただき、糖尿病患者さまへの手帳配布にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

〈連携方法〉

1) 「糖尿病」と診断された患者さまが来院したら、この手帳をお渡し下さい。

手帳を渡す前に、下記項目の記入をお願いします。

- ① (P9) 糖尿病連携パス医療機関 に貴医院の情報を必要事項にご記入下さい
- ② (P10) 基本情報 中ほど(合併症)に患者さまの歯周病についてご記入下さい
- ③ (P13～) 患者さまの歯周病についてご記入下さい
 - ・患者さまの口腔内状況などについて特記事項がございましたら、「治療内容・療養指導のポイント」欄にご記入下さい
- ④ (P24～) 療養指導（食事・合併症・生活習慣欄等）に関して、必要事項をご記入下さい

2) 他科受診が必要になる場合は、この手帳を持参の上、受診するようお伝え下さい。

他科での管理状況をご確認ください

→身体状況(内科・眼科・外科・皮膚科など)、投薬内容などをご確認いただいた上で、健診や治療、個別指導等を行ってください。
(歯周治療を施す過程で、身体状況が改善する場合がありますので、そういった場合には、その状況を患者さまにぜひお伝え下さい)



糖尿病を患った方は口腔内環境が悪化しやすい状況にあることが予想されます。できるだけ、定期健診等で口腔内状況の管理を行うとともに、保健指導を行い、悪化を防ぐ一助となるようご協力よろしくお願いいたします。

(手帳、リーフレットの配布及び活用方法の説明をお願いします)